

# 笑雲

しょう

うん

第54号

発行：平成24年4月8日

## 祥雲館

社会福祉法人 桃林会

〒563-0101

大阪府豊能郡豊能町吉川187-1

TEL：072-733-2301

FAX：072-733-2303

番号をお間違いのないようご注意ください



### これまでの祥雲館カフェ活動を振り返る

今回は、笑雲でも度々取り上げてきました祥雲館のカフェ活動について、ご報告いたします。「Cafe」という言葉は、人と人が何気なく語り合う場を指します。この取り組みは、福祉をテーマに市民が語り合う場を作れないだろうかということから始まりました。

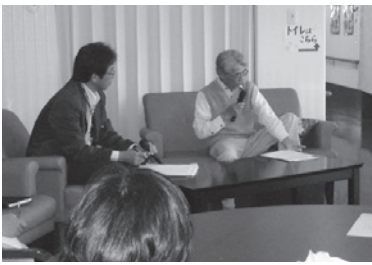
「地域福祉の取り組み」「介護職員の悩み」「福祉ボランティア活動の課題」や「家族介護の現実」などのテーマが取り上げられました。福祉活動に携わる地域住民や福祉職員の語りの場として、確実に定着しつつあります。

この地域住民と福祉職員との語りの場からは、どのようなものが芽生えたのでしょうか？ この

例えば、これまでの福祉サービスは、国によって全国一律の制度として確立されてきました。しかし、今後この担い手が地域住民に移ることによって、地域住民と福祉職員の対話の中から、新たな福祉サービスを創造することも可能ではないでしょうか？

世界的には、今後の町づくりの担い手は「国なのか？ 国民個人か？」といった両極的な選択から、第三の道として「地域ぐるみ（コミュニティ）で担うべき」という潮流が見られます。このカフェの場には、地域ぐるみ（コミュニティ）の活性化の源泉があるように思います。

今後、カフェでの実践を進めていくことで、地域住民と福祉職員の福祉サービスの協創の場を模索していきたいと考えます。ぜひ、一度カフェにご参加ください。楽しいですよ！



答えは、カフェの場で語られた言葉にあると考えます。これまでのカフェで特に多く語られたのは、「絆」「町づくり」「つながり」と

「絆」「町づくり」「つながり」と

「絆」「町づくり」「つながり」と

### 祥雲館 Café 第10回 高齢者福祉を一緒に考えませんか？

祥雲館Caféも今回で10回目を迎えます。第9回では、2年間のCaféを振り返りました。食事をしながらのひと言発表では参加していただいた皆様一人ひとりの思いを聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。今回も次のようなテーマで語ろう会を予定しています。福祉や地域の活性化に興味のある方の参加をお待ちしています。

- 【日時】平成24年4月21日(土) 10時～12時
  - 【場所】祥雲館新館 あじさいデイルーム
  - 【会費】200円（懇話会茶菓代として）
  - 【内容】語ろう会「平成24年度介護報酬改定について」  
介護保険のいろいろな質問にお答えします。  
：祥雲館ケアマネジャー 須貝起代子 千田友美
- お申込みは、祥雲館 TEL：072-733-2301まで



祥雲館でフットサルチームを作りました

監督兼キャプテンの最年少吉本です。月に1回、2回程度で練習をしています。4月からは川西市のリーグに参加しています。サッカー経験者からフットサル未経験者まで幅広い年代で活動しています。まだまだ始まったばかりですが、将来豊能町代表として大きな大会に参加できたらと思っています。もし対戦してくださるチームがおられたらぜひよろしくお願ひします。



# 祥雲館の出来事

祥雲館で最近の出来事を紹介します。  
当館ホームページの  
Information欄からの抜粋です。

- ◆2011.12.11(日)  
○特養ユニットで家族会(食事会)を行いました。
- ◆2011.12.16(金)  
○特養4階にて「おやつレク」を行いました。
- ◆2011.12.25(日)  
○特養・デイ・グループホームでは、クリスマスにちなんだイベントを行いました。(ケーキ作り・ゲーム大会など)
- ◆2012.1.1(日)~3(火)(正月)  
○特養ではお正月のお楽しみ会を企画しました。
- ◆2012.1.8(日)・15(日)  
○特養ユニットで「定期家族会」を行いました。
- ◆2012.1.9(月)  
○グループホームさくらで、初詣に行きました。
- ◆2012.1.11(水)  
○デイホームすみれへ民生委員(2名)の見学にされました。  
○グループホーム花みずきで、「新年会」を企画し、皆さん喜んでいただきました。
- ◆2012.1.16(月)・19(木)  
○デイホームすみれでは、多田神社へ初詣に行きました。
- ◆2012.1.17(火)  
○吉川小学校の児童さんが新館(グループホーム)へ来館しました。
- ◆2012.1.23(月)  
○地域の方を対象に「介護教室」を開催しました。
- ◆2012.1.25(水)  
○職員対象の「介護技術勉強会」を行いました。
- ◆2012.1.28(土)  
○第9回祥雲館Café「2年間の振り返り」を行いました。
- ◆2012.2.3(金)  
○デイホームすみれで節分イベントを行いました。
- ◆2012.2.7(火)・15(水)  
○職員研修「防災セミナー」を2回開催しました。
- ◆2012.2.14(火)  
○グループホーム花みずきでバレンタインレクを行いました。
- ◆2012.2.24(金)  
○グループホームは、第三者評価を受けました。
- ◆2012.2.26(日)  
○グループホームで「家族会」を開催しました。
- ◆2012.2.28(火)  
○本館・新館で、消防訓練を行いました。
- ◆2012.2.28(火)~4.3(火)  
○吉川 花折街道「桃の節句雛のつどい」に参加しています。

祥雲館のホームページ

<http://www2.gol.com/users/syownkan/>

次の発行は平成24年7月8日(日)です

# えっ、ホント?!

2月7日、15日  
防災セミナー実施

この先4年間で  
マグニチュード7クラスの  
地震発生確率70%!  
(東大地震科学研究所)



## もし今、グラっときたら!?

をテーマに、大きな揺れが発生した時に職員がとるべき行動と、日頃からの安全対策について講師から説明を受けました。

### 防災の基本姿勢はズバリ!!



■災害へのそなえとは・・・言い方を換えると

死なない、死なせない  
生き残り  
生き延びる

・・・ためのストーリーづくり

そのためには、万が一に備えた日頃からの  
安全対策が重要になります。

■地震の際に命を脅かすような危険なものって?

○施設内/施設周囲の危険なもの=危険要因を知る

- ・建物自体 ……倒壊/圧壊
- ・窓ガラス/ガラス戸/鏡など ……飛散
- ・家具類/事務所内OA機器/什器類/防火扉など…転倒
- ・建物外部のコンパンなど ……落下
- ・壁/石垣/ブロック壁など ……崩落/飛散

○危険なものがわかれば安全なところ=安全ゾーンがわかる

■地震発生時の瞬間どうしたらいいか?

危険なもの=危険要因から離れて

極力安全な場所=安全ゾーンに近づき

身を低くする

### 安全対策 ポイント1

★地震発生時に凶器となる備品・建具に安全対策を講じておく。

【例】食器棚やテレビなどは固定し、窓ガラスにはレースカーテンを引いておく。

### 安全対策 ポイント2

★危険な箇所から利用者さんを離しておく。

【例】ベッドの位置を窓ガラスから離す(特に頭の位置)。

### 安全対策 ポイント3

★大きな揺れが発生したときに、職員がとるべき行動を具体的に示しておく。

→防災マニュアル、指示書の作成。

上記の確率はさておき、昨年の東日本大震災以降、地震活動は活発になっているとのこと。祥雲館では万が一に備え、利用者さん、職員の安全を守っていきます。

## 編集後記

最近「共生」とはこういうことだ、と学んだ吉本慶史です。

梅田で買い物をしていると、とある老夫婦を見かけました。奥さんは足が悪いのか杖をついて歩き、ご主人は隣で荷物を持ちながら歩いていました。私はたまたま同じ方向に用があつたのであまり気にせず歩いていのですが、その道の先には階段とエスカレーターで上の階にあがる手段がありました。

エスカレーターで上に登られるだろうと思いましたが、奥さんは杖をご主人に預け、手すりを持ちゆっくり、ゆっくりと階段を歩いていました。ご主人はその奥さんの姿を静かに見守りながら時間をかけて二人で階段を登って行かれました。そのお二人の後ろ姿を見て、「共に生きる」ってこういうことなのだ、と感動しました。

この老夫婦のように自分も将来一生の相手を見つけて人生を歩んでいきたいと思う今日この頃です。